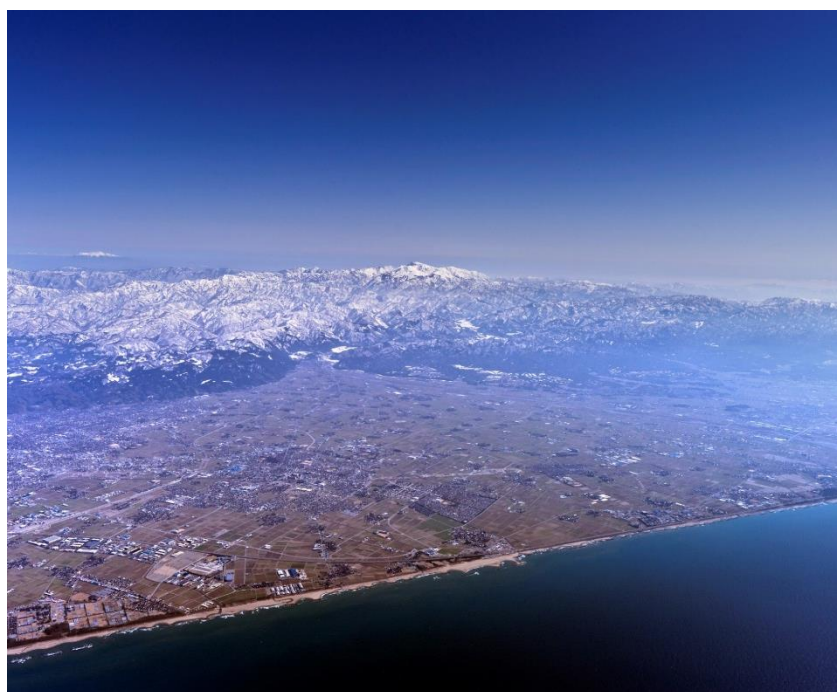


第二次白山市総合計画基本構想策定に向けた

市民会議提言書



平成 28 年 1 月

第二次白山市総合計画基本構想策定市民会議

—目次—

I	はじめに	1
	1. 提言書の作成にあたり	1
	2. 市民会議の役割	2
	3. 市民会議の構成と内容	2
II	分野別提言	3
	1. 健康福祉	3
	2. 教育	4
	3. 市民生活	5
	4. 都市基盤	6
	5. 産業	7
	6. 観光文化	8
	7. 行財政	9
III	実現に向けて	10
—資料編—		
	1. 委員名簿	12
	2. 検討経緯	13

I はじめに

1. 提言書の作成にあたり

「第二次白山市総合計画基本構想策定市民会議（以下「市民会議」という。）」は、平成29年度から平成38年度を計画期間とする「第二次白山市総合計画」の策定に当たり、市民や関係諸団体の意見を広く集め、白山市の目指すべきまちづくりなどを検討し、市長に提言をすることを目的として、平成27年7月に設置されました。市民会議は、市民から委員を公募するとともに、関係諸団体から委員を募り、「健康福祉・教育」「市民生活・都市基盤」「産業・観光文化」の3つの部会を設け、それぞれ6回の会議を開催し、議論を深めてまいりました。

ここに議論の成果として、白山市の今後のまちづくりに求められる視点や特に重点を置いて取り組むべきテーマなどについて、またその実現に向けた考え方について、とりまとめることができました。

白山市においても、多くの自治体と同様に人口減少に転じ、長期的な少子高齢化も予測されていますが、白山・手取川・日本海に代表される豊かな自然をはじめ、多様な魅力をさらに磨き、それらが連携・調和するよう取り組むことで、明るい将来が展望できるものと思います。

白山市の明るい将来の実現に向け、行政をはじめ市民、事業者、団体など、白山市に関わる全ての人が、知恵を出し、力を合わせて取り組み、元気で笑顔あふれ、魅力あるまち白山市を創り、「次世代への贈り物」として後世に引き継ぐことが大切です。この提言が、第二次白山市総合計画基本構想の策定および今後のまちづくりに活かされるとともに、将来に向けて夢が持てる計画として実践されることを希望します。

2. 市民会議の役割

○市民会議は、第二次白山市総合計画の「基本構想」の策定において、日頃からまちづくり活動に参加している方や各分野の専門家のほか、公募による市民が計画段階から参画し、地域の現状や課題を再認識するとともに、その課題解決に向けた取り組み方針などを提言するものです。

○市民会議での提言書は、基本構想策定に際しての基礎資料として活用します。
ただし、計画への反映が困難と判断された意見等については、今後の検討課題として取り扱い、資料編などで記録を残すものとします。

3. 市民会議の構成と内容

○市民会議の構成と検討する主な分野・施策区分は下表の通りです。

部会	分野	施策区分
健康福祉・教育	1 健康福祉	①健康づくり、保健・予防、地域医療 ②地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、子ども福祉 ③社会保障
	2 教育	①学校教育 ②青少年教育 ③生涯学習 ④スポーツ
市民生活・都市基盤	3 市民生活	①市民協働、住民自治、コミュニティ ②人権・平和、男女共同参画 ③消費者保護、広報・広聴、市民相談 ④環境保護・保全活動、循環型社会 ⑤生活環境 ⑥防災、消防・救急、防犯・交通安全
	4 都市基盤	①都市基盤、都市空間 ②交通体系、公共交通 ③上下水道、河川 ④情報通信基盤
産業・観光文化	5 産業	①地域ブランド、地産地消 ②農業、林業、漁業 ③商工業 ④雇用
	6 観光文化	①観光 ②芸術・文化・歴史 ③都市交流
7 行財政		①行財政

Ⅱ 分野別提言

【1. 健康福祉】

誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり

- ・全国の地方都市で人口減少や少子高齢化が進行する中、移住・定住先として選ばれる都市となるためには、子育て支援施策の充実をはじめ、高齢者や障害者がそれぞれの地域で活躍できる環境づくりなどの、定住施策の充実が不可欠と考えます。
- ・老若男女が世代を超えて互いに認め合い、地域力や家庭力（地域や家庭で人を支え育てる力）を高めながら、一人ひとりが充実した生活を送ることができる社会を構築していくことが望まれます。
- ・このことから、保健・医療・福祉に係わる市民サービスを総合的に充実させ、市域のどこに住んでいても、誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる白山市を目指すべきと考えます。

＜施策区分＞

1-1 若い世代が安心して住み続けられる環境づくり

- 1) 人との交流や子育てがしやすい環境づくり
(児童館や児童センターの整備、医療体制の充実、子育て支援策の強化・PR、出会いのきっかけづくりなど)
- 2) ワークライフバランスの推進
(保育所(園)や放課後児童クラブ等の拡充、父親の家事や育児への参画促進など)
- 3) 地域全体で子どもたちを育む環境づくり
(地域力・家庭力の強化、地域と保育所(園)・学校等の連携強化など)

1-2 高齢者や障害者を地域全体で支え、 いきいきと活躍できる環境づくり

- 1) 地域全体で高齢者や障害者を支える体制の整備
(地域全体で見守る体制の整備、地域包括支援センターの整備・充実など)
- 2) 高齢者や障害者が健康で暮らしやすい環境づくり
(高齢者や障害者の活躍促進、外出や交流機会の増加、総合型ケアハウスの整備、生涯活躍のまち(日本版 CCRC^{※1})の推進など)
- 3) 市民参加による健康づくりの推進
(健康寿命の延伸、大学と連携した健康づくり、食生活の改善など)

※1 CCRC：高齢者が、自らの希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療 介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり

【2. 教育】

地域ぐるみで心と体を育むまちづくり

- ・白山市の次代を担う子どもたちや若者たちが、心にゆとりを持ち、失敗を恐れずにチャレンジできる環境の中で、確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましい体をつくり、自立して生き抜く力を育てていくためには、教育や文化・スポーツが重要な役割を果たすものと考えます。
- ・また、大人や高齢者にとっても、充実した人生を送るために生涯学習や生涯スポーツの場は大切であり、地域で学び、生きがいを持てる環境づくりが望まれます。
- ・このことから、市民の“郷土愛”を育み、次代の担い手として成長できるよう、学校教育やスポーツ環境の充実を図っていくことが望まれます。さらに、家庭・学校・地域の連携・協働による教育活動の推進や、生涯学び続けられる環境を創出することが重要と考えます。

<施策区分>

2-1 切れ目のない学びの環境と地域に開かれた学校づくり

- 1) 切れ目のない教育環境の整備
(保育所(園)・幼稚園・小中高・大学の連携、知徳体の調和のとれた教育など)
- 2) 地域に開かれた学校づくり
(地域や保護者と学校の連携強化、教育現場における住民参加の推進など)
- 3) 子どもたちが安心して成長できる環境づくり
(児童虐待防止対策の強化、「チーム学校^{※1}」によるいじめや不登校の対応など)
- 4) 魅力ある地域の学校づくりへの支援
(文化やスポーツを通じた魅力向上、市内学校の魅力づくりへの支援など)

2-2 元気で健康な心身を育む教育・スポーツの環境づくり

- 1) スポーツ活動を推進する環境の整備
(体育施設の整備・更新、プロスポーツとふれあえる環境の充実など)
- 2) 生涯学習・生涯スポーツの充実
(公民館の整備・更新、生涯学習団体への支援、指導者の育成など)

※1 チーム学校：現在の学校が抱える課題は複雑化しており、教員の専門性だけでは対応が困難になっているため、教員の専門性の向上を図るとともに、多様な専門スタッフを配置し、様々な業務を連携・分担してチームとして職務を担う体制

【3. 市民生活】

人と地域が輝く市民主体のまちづくり

- ・まちづくりの原動力は人であり、それらの人が集うことでコミュニティが形成されるものです。現在も、町内会、青壮年会、婦人会、老人会等の地元組織や公民館等による様々な地域活動が展開されています。
- ・このような地縁型のコミュニティを主体としたまちづくり活動に加え、企業や大学、ボランティア、NPO、そして意欲ある市民との協働により地域社会の課題解決を図っていく目的型のコミュニティを育み、まちづくりを実践していくことが期待されます。
- ・このことから、市民を主体としたまちづくり活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図り、豊かな人間関係が構築できる地域社会づくりが重要と考えます。また、白山市が誇る豊かな自然や良好な生活環境の維持・充実に向けた取り組みが望まれます。

<施策区分>

3-1 市民主体のまちづくりの推進

- 1) 地域住民主体のまちづくりの推進
(公民館機能の充実と活動の推進、青壮年会・老人会等の地区活動の支援など)
- 2) 市民の一体感の醸成(「オール白山」としての取り組みの推進)
(人が集まる機会と場所の創出、まちづくりに関する取り組みの充実など)
- 3) 新たなコミュニティ活動の推進
(目的型コミュニティの充実・強化、地域を支える人材の育成など)
- 4) 思いやりのあるまちづくりの推進
(男女共同参画の拡大 など)

3-2 豊かな自然と良好な生活環境の維持・充実

- 1) 豊かな自然や良好な生活環境を活かしたまちづくりの推進
(自然の保全と共存、再生可能エネルギーの推進、地下水・伏流水問題への対応、森林環境や水環境を守り、継承する取り組みなど)
- 2) 防災・安全対策の充実
(白山噴火を含む防災対策、防災施設や防災資機材の整備・充実など)

【4. 都市基盤】

市民の暮らしを支える快適で安全なまちづくり

- ・市民の安全で快適な暮らしや活力ある産業の振興等を実現していくためには、道路や公園、上下水道等のライフラインの整備・維持管理・更新をはじめ、老朽化が目立つインフラの最適化、市内外の移動を支える交通や公共交通の充実などに取り組んでいくことが重要と考えます。
- ・また、若者を中心とした移住・定住を促進するとともに、住み良さの向上のためには、白山市が誇る豊かな自然環境の保全と活用はもとより、将来の目標人口や都市構造を見据えた住宅・宅地の整備、空き家の有効活用等を講じていくことが望まれます。
- ・このことから、多様な地域の特徴を踏まえ、市民の暮らしを支えるための快適で安全な都市基盤の整備と、恵まれた自然環境や住環境のPR等による移住・定住の促進を行い、機能的で利便性が高いまちづくりにより、白山市の持続的な発展が期待されます。

<施策区分>

4-1 誰もが市内外を円滑に移動できる交通環境の整備

- 1) 公共交通の充実による生活の足の確保
(コミュニティバスの利便性向上、石川線の延伸、市内外の公共交通の連携など)
- 2) 市内外を円滑につなぐ交通網の再構築
(道路網の整備、松任駅への交通網の再構築、北陸新幹線(仮称)白山駅の整備など)

4-2 住み良さを実感できる社会基盤の整備

- 1) 若者を中心とした移住・定住の促進
(空き家の有効活用、手厚い定住施策、同居・近居支援など)
- 2) 暮らしの豊かさが実感できる魅力ある都市基盤の整備
(松任駅周辺の魅力の向上・活性化、若者が集い利用できる施設の整備)

【5. 産業】

賑わいと活力があふれるまちづくり

- ・白山市は、県内有数の製造業の集積と高い女性就業率を誇っているほか、白山や手取川、日本海の恩恵を受けた豊かな水と農林水産資源を有し、醸造をはじめとした伝統的な発酵食品文化など、多様な魅力があります。
- ・人口減少に伴い地方経済が縮小する中、農林水産業を活かした付加価値の高い製品の開発・販売や、空き店舗の活用による新たなサービスの展開など、地域資源を活かした地場産業を育てていくことが重要と考えます。
- ・このことから、既存の産業基盤を活かすとともに、伝統産業や商店街の活性化、中小企業などの育成・支援のほか、創業を支援し、多様で付加価値の高い産業の集積が期待されます。また、新しい「しごと」（雇用）の創出を図り、市民（特に若者）が魅力を感じる働く場の確保と安心して働ける環境の創出、さらには各種産業の連携・共存による地域内経済循環の確立が望まれます。

<施策区分>

5-1 賑わいと活力を創出する商工業の振興

- 1) 立地の良さなどの特徴を活かした企業誘致
(グローバルカンパニーの誘致、ベンチャー企業への支援など)
- 2) 既存企業の支援による活力の創出
(先端産業・次世代産業の創出支援、異業種間交流の促進など)
- 3) 商業の振興によるまちの賑わいの創出
(空き家・空き店舗の活用、出店しやすい環境づくり、地域内経済循環など)

5-2 強い農林水産業の構築

- 1) 産地化の強化とブランドの育成
(商業・観光業等の他分野との連携強化、地産地消や6次産業化の推進、産地化形成とブランドの育成、新たな特産品づくりなど)
- 2) 安定した所得を確保できる環境の整備
(担い手の確保、農業基盤の整備、鳥獣害対策、耕作放棄地の解消、TPP対策など)

5-3 若者の地元就職の拡大

- 1) 若者の地元就職の促進
(企業と大学の交流促進、インターンシップの実施、U I J ターンの促進など)
- 2) 安定した雇用の確保
(企業誘致と地元企業への配慮など)

【6. 観光文化】

自然・歴史・文化と人が交わるまちづくり

- ・白山市は、日本三名山の一つである白山のほか、手取川・日本海に育まれた豊かな自然環境や観光資源を有するとともに、祭りや食文化など地域固有の歴史・文化が色濃く残っており、これらを守り、伝え、活かし、白山市の魅力を最大限に楽しめる観光の振興が期待されます。
- ・豊富な地域資源を有する一方、それらを観光要素としてとりまとめ、国内外に広くPRし、きめ細かなサービスを提供する仕組みが重要と考えます。
- ・このことから、白山市が誇る多様な地域資源にさらなる磨きをかけ、白山文化・白山ブランドの確立を図るとともに、積極的なシティプロモーションの推進による観光・交流人口の拡大および多様な人材の受け入れ態勢の整備が望まれます。

<施策区分>

6-1 自然・歴史・文化等の多様な魅力を活かした観光の振興

- 1) 観光客を呼び込むための環境の整備
(滞在型施設の充実、Wi-Fiの整備、観光バスの運行、スキー場の利活用など)
- 2) 自然、食、健康、祭りを組み合わせた観光の推進
(白山開山1300年を活かした取り組み、白山比咩神社等の活用、発酵食文化のPR、伝統的な祭りのPRなど)
- 3) 鉄道のまちとしての観光の推進
(白山総合車両所等を活かした誘客、鉄道に関するイベントの開催など)
- 4) 東京オリンピックや北陸新幹線敦賀開業・関西延伸に向けた対策の推進
(オリンピック関連文化プログラムの実施、関西圏からの誘客促進など)

6-2 白山文化・白山ブランドの創造

- 1) 品格と文化が感じられるまちの形成
(コンサートの定期開催、歴史遺産や伝統文化の継承など)
- 2) 自然や歴史を活かした文化活動の推進
(白山や手取川をテーマとした企画展の開催、ジオパークの活動推進など)
- 3) 食文化の充実と広報の推進
(自然や普段の中にある食文化のPR、ジビエ料理の普及・促進など)

【7. 行財政】

市民の信頼に応えるまちづくり

- ・今後さらに、自治体の果たすべき役割が高まる一方、今後の人口減少を見据えた財政の健全化や行政運営のスリム化などの効率化を図ることが重要と考えます。
- ・また、行政に対する市民ニーズの多様化・複雑化が進んでおり、情報通信技術の進化などにも対応しながら、市民サービスの向上を図っていくことが望まれます。
- ・このことから、公共施設の総合的な管理、市民サービスの向上、自主財源に見合った健全な財政運営を図り、行政改革を継続的に進めることで、市民の信頼に応える行財政の実現が期待されます。

<施策区分>

7-1 自主財源に見合った適正規模のまちづくり

1) 既存施設の活用と適正な施設整備の検討

(公共施設の再編・利活用、地域課題に対応した整備・再構築など)

2) 市民サービスの向上

(市役所内外の連携、窓口サービスの充実、各種申請手続きの負担軽減、市民や各種団体が使いやすい施設や設備の充実など)

3) 行財政改革の推進

(職員の意識改革・人材育成、行政運営のスリム化、財政の健全化、民間活用など)

Ⅲ 実現に向けて

総合計画の実現に向けて、以下の点を考慮し、効率的かつ効果的に取り組みを進めていただきたい。

1. メリハリのある取り組みの推進

総合計画は様々な分野を網羅的に扱う性格上、欲張りすぎてどの取り組みも“絵に描いた餅”になる恐れがあるため、市民目線にたち、各種取り組みの優先順位を明確化し、メリハリのある取り組みを進めることが必要と考えます。

また、取り組みを実現するためには、誰が、いつ、どのようになどの視点で取り組む方法を具体化することが必要であるとともに、市民の活力を有効に活用し、効率的な行政運営と地域の活力創出を図ることが必要と考えます。

2. 多様な地域性を踏まえた取り組みの推進

白山から日本海まで広範にわたる本市は、地域ごとに異なる魅力や様々な課題を有しており、それぞれの地域特性を踏まえ、より効果的な取り組みを展開することが必要と考えます。

3. 各種条例や関連計画を踏まえた取り組みの推進

総合計画は白山市の最上位計画に位置付けられますが、市民憲章や今年度の制定に向け検討されている白山市文化振興条例をはじめとする各種条例のほか、「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの関連計画を踏まえた取り組みの推進が必要と考えます。

4. 広域的な連携による交流人口の拡大

地域の個性が求められる時代において、近隣市町と観光客などの取り合いをするのではなく、連携・協力することにより、さらに魅力ある都市圏として交流人口の拡大などにつなげるため、石川県をはじめ近隣市町などとの連携が必要と考えます。

5. 計画の定期的な評価・見直しと市民への周知

総合計画は本市の長期的な活動指針となることから、各施策の進捗状況の把握と評価、調整を行うことが必要と考えます。また、計画の進捗状況や評価結果を広く市民に開示し、市民参加型のまちづくりを推進することが重要と考えます。

— 資料編 —

1. 委員名簿

部会	氏名	備考
健康福祉・教育	横山 壽一	部会長
	永山 くに子	副部会長
	木林 勉	副部会長
	濱本 寿子	
	佐賀 一夫	
	黒島 秀介	
	二口 伸也	
	平 邦弘	
	辰田 忠明	
	石井 勲雄	
	谷 健一	
市民生活・都市基盤	内 慶瑞	部会長
	西野 辰哉	副部会長
	車古 邦夫	
	小松 証	
	村上 紀明	
	中田 篤子	
	金丸 和弘	
	野本 栄之	
	山田 利光	
	松森 克昭	
	水原 久	
明正 晋一		
産業・観光文化	阿手 雅博	部会長
	石原 正彦	副部会長
	竹山 武志	
	竹内 文雄	
	加藤 義裕	
	北村 達也	
	松村 邦寛	
	山本 外勝	
	軽部 英俊	
	油 省三	
	佐野 賢二	
鶴野 俊哉		

2. 検討経緯

	部 会			検討内容
	健康福祉・ 教育	市民生活・ 都市基盤	産業・ 観光文化	
第1回	7月26日（3部会同時開催）			市民会議の概要説明 市民フォーラムの開催
第2回	9月18日	9月14日	9月16日	基本構想策定に当たり 議論すべき視点の整理 など
第3回	10月30日	10月22日	10月26日	今後の取り組みの視点および 具体的な取り組み など
第4回	11月30日	12月10日	11月30日	提言書骨子案について
第5回	12月21日	12月24日	12月22日	提言書素案について
第6回	1月18日	1月14日	1月15日	提言書案について